

(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(31)

ロイ・スミス館が神戸市の景観形成重要建築物に

当財団の事務局や外国人教員宿舍などに利用されているロイ・スミス館が、国の「登録有形文化財」に指定されたことは以前に報告しました。それもあって、こういう文化財を見学される方が当館を訪ねられることがあります。当館はその後、兵庫県内の「ひょうご近代住宅100選」の一つにも選ばれていましたが、神戸市が、今度は当館を「景観形成重要建築物等」に指定し、12月3日に告示しました。この景観形成重要建築物に指定されているのは、市文書館や市立博物館、神戸ハーバーランド煉瓦倉庫などの近代建築物で、今回ロイ・スミス館は16件目になるものです。

しかも、今迄の指定とは違って、市の指定対象になりますと、まだ詳細は明らかではありませんが、その所有者である六甲台後援会は補修などの際に市からの助成を受けることが出来るということになっています。その意味では、大変ありがたいことです。以上のことは、12月1日の神戸新聞にも写真入り4段記事で報道されましたから、ご覧になった方も多いと思いますが、念のため、ご報告申し上げます。

母校3研究科の新計画の成功を祈って

本誌前号で最近、文科省というより民主党政権が進めようとしていた大学改革のことについて触れておきました。新しい安倍内閣が大学や大学院などわが国の高等教育の在り方についてのどのような方針を示すようになるのかは、まだ分かりませんが、しかしいずれにしても、高等教育もグローバルな競争状態に入った今日、私たち凌霄会員の母校になる法・経済・経営・国際協力の4研究科および3学部も、この競争の中で単に生き残るだけでなく、より大きく発展できる体制を確立しなければならぬことは、どなたも異論がないと思います。

そこで詳しいことは、本誌でもまた別のところで紹介されると思いますので、ここではごく簡潔に触れさせて頂きますが、まず経済学部および同研究科では国際的に活躍できる企業人の条件、すなわち共通言語としての英語を身につけ、異なる経済・社会・文化の背景を理解し、修士以上の学位を持つことが、一般的になつて諸外国の企業エリートと対等にわたり合うことが出来る人材育成コースの創設を、来年度から始めようとしています。そのために学部・研究科の5年一貫プログラムで学部2年生の時から20名を対象に教育を始めることになりました。これに対して、経営学部では、やはり学部2年生を対象にしますが、米国のワシントン大学、英国のカーディフ大学、オーストリアのウィーン・経済経営大学、スウェーデンのゲーテボ

ルグ大学、フランスのマルセイユ経営大学、ノルウェーの経済・経営大学および、タイのチュラロンコン大学などに2、3名ずつ1年間留学させ、4年間で学部生として修了するといったプログラムを計画しています。また経営学研究科では、すべての授業を英語で実施するセサミプログラム（すなわち、戦略的共創経営イニシアティブ）コースを平成25年4月から設けることにしました。なお、法学研究科では、前2研究科とは違って、大学院・法科大学院などで4つずつくらい英語による授業を開始することから始めます。

いうまでもなく、今各国で行われている高等教育改革に立ち向かうためには、これだけではまだ不十分といわねばなりません。そういうことも考慮して、すでに平成24年4月から母校には、「社会科学系教育研究府」が創設され、初代研究府長には金井壽宏教授が就任されています。この研究府は、社会科学系分野の学際的理論研究を幅広く行う「社会科学先端リサーチユニット」、産学連携で事業創造に関連した研究を行う「産業創成イニキュベーションユニット」と臨床型のフィールド研究を行う「高度経営クリニクユニット」の3つを持ち、新しい模索を始めようとしています。しかし、容易に理解して頂けるように、こうした改革を実効のあるものにしようとすれば、従来以上にそれ相応の財政的補強も必要です。この機会に、私たち六甲台後援会としては、募金活動を更に強化して、母校の発展に少しでも寄与出来ればと考えているところです。

今回の皆様のご寄付に感謝

以上のようなことを考えている今期、すなわち本誌395号でご報告した以降にも、また皆さんから次のようなありがたいご寄付を頂くことが出来ました。

すなわち匿名希望の方（昭35・法）200万円、都倉康之様（昭37・経済）20万円、竹村惇平様（平21・経済）3千円、法学研究科の先生方45名13万5千円、国際協力研究科の先生方24名7万2千円、襄山会（稲葉ゼミOB会）様1、808万2、591円、凌霜会様4、236万9、027円、高崎正弘様（昭34・経営）10万円、佐伯壽一様（昭45・経済）10万円、松岡三郎様（昭35・経済）10万円、新野幸次郎様（昭24）50万円、のほか矢尾ゼミで呼びかけられた山藤正直様（昭33・経済）5万円、奥井康夫様（昭49・経済）3千円、久保和雄様（昭43・経済）3千円、長瀬一之様（昭43・経済）3千円、田中正彦様（昭42・経済）5千円がそれです。本当にありがとうございます。これで、平成24年度に入ってからだけでも合計6、812万5、618円のご寄付を頂いたこととなります。理事長が新しく皆さんへのご寄付を呼びかけられた平成16年からは、約2億8、299万9千円にも達しました。前述しましたように、大学の大改革が始まり、その一層の充実を必要としている今日、これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、いつも申し上げていますように、六甲台後援会へのこ

寄付につきましては、税法上の特別措置のある証明書付きの領収書をお送りしております。ご寄付の手続きは次の通りです。で、よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡に時間がかかり、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です。から、ご送金について事務局までご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX(078)861-3013

E-mail:rokkodafund@kobe-u.com

凌霜俳壇

昭30 菅 蚊か帳ちよう清一

春暁の淡きくちづけパール富士

凌霜歌壇

昭34 経 千田 徹夫

母校なる石段蔭す大楠や今なお枝を伸ばしつもあり

昭40 菅 古谷 公和

大阪都

もふ一度浪速の賑はひ戻りこよ「大阪都」なる新語の生れて